



苫小牧「近所の自然散歩」2024年度のまとめ

苫小牧「近所の自然散歩」は、今年度も、里山モニタリング調査「開花植物」「野鳥」「哺乳類」を実施しました。調査には11名(延べ57名)の方が参加し、一緒に調べました。調査に参加いただいた皆様、ありがとうございました。2025年度も、引き続き、どうぞよろしくお願いたします。

■モニタリングサイト 1000 里地調査について

全国約 1000 ヶ所で、動植物の生息状況を 100 年にわたって調べ続け、日本の自然環境の変化をとらえようという環境省プロジェクトです。このうち日本自然保護協会が実施する里地里山タイプの調査地として「苫小牧近所の自然散歩」開催地が登録されています。市民参加ボランティア調査です。

■2024年度の調査結果

☆草花の調査

4月～10月の全7回、植物調査を行いました。草本の蕾、花、実のある植物を記録。木本、イネ科、カヤツリグサ科、シダ植物は調査対象外ですが、木本はできるだけ記録しています。2024年度の植物リストは別紙の表(全4ページ)に掲載します。

2023年度に、シカの食害により見られなくなった種を確認するため、過去に記録がある種類を探しながら調査しました。2024年度も、久しぶりにフクジュソウとエゾゴマナを確認しました。昨年みつけた、アカザ、イケマ、イチゲフウロ、イチヤクソウ、エノキグサ、ナミキソウ、ハナニガナ、ヒトツバイチヤクソウの8種は2年連続確認できました。

環境の変化や、シカの食害で見られなくなった種類が多いと考えられます。今年度確認できず過去に記録した植物リストも別途表にします。

☆野鳥の調査

繁殖期と越冬期のラインセンサス調査を行い、32種類を記録しました。昨年より大きく種類数が減りました。夏の調査日程や、冬鳥が全道的に少なかったことも理由と考えられますが、年々減少傾向なのが気になります。植物調査中の記録が10種類あり、出現リストは42種になっています。2024年度の出現種は別紙の表に掲載します。

☆哺乳類の調査

自動撮影カメラを設置し、撮影された哺乳類を記録する調査です。2024年は、キツネ、タヌキ、テン、ニホンジカ、キタリス、ネコが記録されました。

2019年からのまとめを別紙に掲載します。

主催・発行：自然ウォッチングセンター 島田さとみ

Tel011-583-5208、Fax011-583-5233、携帯 090-6872-3045

Eメール info@shizen-w.org ホームページ <https://shizen-w.org/>